

早咲きのつつじに学ぶ、 館林の誇り

4月28日(火)。

4年生は、総合的な学習の時間「つつじが岡博士になろう！」の学習として、つつじが岡公園へ出かけました。

今年は気温の影響もあり、つつじの見頃が例年よりも早まり、通常であればゴールデンウィーク期間中にピークを迎えるところ、既に見頃を過ぎつつある株も見られました。そうした中でも、色鮮やかに咲くつつじを前に、子どもたちは品種の違いや咲き方の特徴に目を向け、熱心に観察や記録を行っていました。

本日の見学では、映像を見てつつじが岡の四季の変化や管理の工夫について学んだり、地域の専門家の方から、つつじの育て方や守り続けてきた人々の思いについて説明を聞いたりしました。

館林のつつじは、江戸時代に武士や町人によって育てられてきたとされ、長い年月をかけて受け継がれてきた地域の大切な財産です。こうした歴史にも触れながら、子どもたちは自分たちの住むまちの魅力について理解を深めています。実際に現地を訪れることで、これまでの学びと結び付いた新たな気づきや疑問も生まれ、学習がより広がりのあるものとなりました。今後は、それぞれの発見を整理し、「つつじが岡博士」としてまとめていく予定です。

